

施策評価管理シート

2022(令和4)年6月作成

施策体系	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	1	地域産業の振興		
	施策	2	商工経済	産業部	内匠 勝也

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 地域産品の活用や農商工の連携による新事業の育成、地産地消など地域内経済の循環促進を図り、商業・サービス業の振興さらには地域経済の活性化を図ります。

○ 中小企業等に対する資金調達、経営指導、各種融資制度や補助金などの財源確保の支援を通じ、商工業の振興を図ります。

2. 令和3年度の取組内容及びその成果



新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市内事業者への支援事業として位置付けたプレミアム付き商品券事業「名張のお店応援商品券」を実施し、約2億9,000万円の経済効果を生み出すことができました。また、国や県の支援金等で支給要件とされない売上高減少率15%以上30%未満の事業者に対して、「名張市ウィズコロナ事業者応援支援金」を交付しました(申請件数:144件〔法人43件・4,300千円、個人事業主101件・5,050千円〕)。

名張市経済好循環推進協議会では、3カ年事業の最終年度として、「事業承継キャラバン」と題した専門家による事業所訪問等を通じ、さらなる課題の掘り起こしや、その解決に向けた伴走型支援を実施しました。その結果、本年度1件の事業承継が実現し、事業所の営業可能年数の増加を図ることができました。また、市内商店街で月1回、半年間にわたり開催したイベントを通じ、新規創業者の販売機会の確保、事業所の売上増加を図り、地域経済活性化の一助とすることができました。

若者移住定住チャレンジ支援事業は、申請2件、採択1件の審査結果でした。本年度は、地元産品を活用し、地域の店舗や顧客とのコラボレーションを提唱したパン・菓子の店舗運営事業が採択されました。

とれたて名張交流館の経営については、3年連続単年黒字の経営結果ですが、設置の本来目的である農産物の取り扱いが横ばいの状況です。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
買物や食事などの日常生活の利便性に満足していると感じる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	65.0	
	成果	59.3	65.0	65.6	70.7	67.5		100.0%
とれたて名張交流館取扱額【延べ数】(千円)	目標	-	-	-	-	-	500,000	
	成果	99,687	192,990	307,185	419,540	540,593		100.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



プレミアム付き商品券事業やウィズコロナ事業者応援支援金では、市内事業者に対し売上の維持、事業継続の支援を図ることができました。一方でアフターコロナやDXを見据えた経営が求められる中、事業者に対して、その気づきをもたらすとともに、支援体制が必要であります。

名張市経済好循環推進協議会の事業所継続プロジェクトは、事業所の営業可能年数の増加目標20年に対し、68年を達成しました。しかしながら、事業承継の課題については、事業者に対し長期的な支援が必要となることから、協議会が解散する令和4年度以降の体制作りが課題となります。

若者移住定住チャレンジ支援事業については、より多くの人々に知ってもらうさらなる工夫が必要であることに加え、今後は本事業の既事業者と新規事業者との繋がり創出を行う必要があります。

とれたて名張交流館の取扱額については、2021(R3)の指標で目標を達成し、売上においても目標対比で104%の売上結果でしたが、販売商品の構成比を改めて分析すると農産品の売上比率が施設の設置設時から比べると下がっています。また、ふるさと納税返礼品の取扱いが経営に大きく左右する中、ふるさと納税返礼品に頼らない経営の安定化策を検討する必要があります。引き続き、農産物の品揃えや魅力ある商品のラインナップに営業努力する必要があります。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和4年度以降)



名張市経済好循環推進協議会解散に伴い、新たに国の地方創生推進交付金を活用し、令和4年度からは(仮称)名張市事業承継人材マッチング支援協議会(フミダス)を設立し、事業所の掘り起こしや、承継人材の発掘、承継マッチング事業を展開し、事業所がより長く事業を継続できる仕組みづくりに努めます。また、当協議会により、経営基盤の強化を行い事業継続への意識を高めるため、事業転換セミナー、DXセミナーを開催し、経営力向上に努めます。

起業・創業支援の取組にあたっては、創業者等が求める支援情報などを適切に提供していきます。また、若者移住定住チャレンジ支援事業においては、基金財源を有効に活用するよう引き続き適正な事業実施に努めます。

とれたて名張交流館においては、農産物の品揃えの充実を目指し、出荷生産者への啓発や個別相談等も行うことで、農産品の売上比率を伸ばしていきます。また、安定経営を目指して経営体制の強化策を検討します。

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	住宅リフォーム等支援事業		地域活力創生室	新型コロナウイルス感染症の影響による地方回帰の流れを捉えた移住促進や、外出自粛による長時間化する在宅時間を快適に過ごすため、新しい生活様式に資する住宅環境の改善促進及び裾野の広い住宅関連業者の活性化を図るため、住宅整備の費用の一部を助成しました。 ・持ち家等リフォーム 116件 ・市民空き家活用型リフォーム 9件 ・移住定住者空き家活用型リフォーム 9件	33,245	0	10,500
一般	ウィズコロナ事業者応援支援金事業	産業部	商工経済室	国や県の支援金等で支給要件とまらない売上高減少率15%以上30%未満の事業所を支援しました。 ・申請件数 144件（法人43件、個人事業主101件） ・支給予定額 9,350千円（法人4,300千円、個人事業主5,050千円）	9,350	9,350	0
一般	テレワーク推進事業	産業部	商工経済室	コロナ禍により、新しい働き方が確立される中、本市への新しい人の流れの創出及び多様な働き方の推進、雇用創出を目的に、テレワーク・サテライトオフィス施設の整備・運営する事業者に対し、補助金の交付等を行いました。 ・空店舗活用型テレワーク施設 1件 ・スペース活用型テレワーク施設 1件 ・空き家活用型テレワーク施設 1件	86,622	1	0
一般	住宅リフォーム等支援事業	産業部	商工経済室	市民が市内事業者の施工により持ち家を改修した場合の費用の一部を補助する「住宅リフォーム等支援事業」を三重県建設労働組合名張支部が実施するに当たり、補助を交付します。 ・上限200千円×100件 ・事務費：1,000千円	0	0	21,000
一般	商工会議所業務補助金	産業部	商工経済室	市内商工業の振興と中小企業の経営基盤強化を図るため、商工会議所の運営を支援しました。 ・商工会議所業務補助 ・中小企業相談所業務補助	3,989	3,989	3,989
一般	地場産業振興事業	産業部	商工経済室	創業者に対し支援を行い、新たな産業の創出や地域経済の活性化を図るとともに、物産PR等による地域産品のブランド化、販路拡大の促進に取り組みました。 ・若者移住定住チャレンジ支援事業（申請3件、採択1件） ・とれたて名張交流館による地産地消の推進	5,791	4,291	8,012
一般	令和3年度プレミアム付商品券発行事業	産業部	商工経済室	新型コロナウイルス感染症拡大による売上減少等の影響を受ける市内飲食店、観光業を支援するとともに、更なる市内の消費を喚起するため、全業種を対象とした第3弾プレミアム付商品券「名張のお店応援商品券」を名張商工会議所が発行するに当たり、商品券のプレミアム相当分等を補助しました。 ・発行冊数 58,480冊 ・商品券換金額 291,045,500円	130,418	0	0